

テーマ  
IT経営（運営）

## ITインフラを活用した組合と組合員のコミュニケーションの活性化

### 千葉県旅館ホテル生活衛生同業組合

メール、ホームページ、SNS等のITインフラを活用して、組合・組合員間の情報伝達の迅速化、双方向化を図り、コミュニケーションを活性化する。

#### 背景と目的

当組合には行政、支援機関や取引先等の関連団体から膨大な資料がもたらされるが、従来はこれらの伝達は紙により郵送、FAXで組合員に伝達していたため、作業に組合事務局が毎月3人で2日ばかりの送付作業を行っていた。そのため、情報は月数回まとめて送付することになり、情報がタイムリーに組合員に届けることができなかった。加えて、手作業のため、全ての情報を組合員に伝達することが難しく、必要に応じて取捨選択して伝達せざるを得ない状況であった。

旅館・ホテル業ではインターネッ

ト予約が一般的に行われていることから、当組合では、組合員がインターネットを活用して営業活動を展開できるよう、従来からの組合のホームページを改訂し、強化する必要があった。

#### 事業・活動の内容

メール配信の導入については、開始当時23社であったが、現在約260社で全組合員の80%超をカバーしている。そこで、ホームページを再構築し、組合員情報等の検索機能を強化して営業支援を行うことを目的としたホームページとするため全面改良を行った。

さらに、組合Facebookページの利用による組合からの情報伝達の円滑化、組合員間情報交換を促進するため、組合Facebookページの開設及び組合員をFacebook登録することで、各種情報をより迅速に組合員に情報

提供することが可能となった。

これらの取組みにより、組合員の情報を組合Facebookページに入力することにより、組合間での共有化がなされるとともに、組合ホームページと自動連携して公開することができ情報がさらに迅速に提供できるようになった。

#### 活動の成果

従来、紙の文書を手作業で郵送又はFAX送信していたが、これを電子化してメールで送信することにより、組合事務局の大幅な作業の効率化が図れた。また、組合にきた情報を取捨選択することなく、ほぼ全ての情報を組合員に流すことができるようになり、組合員の受け取る情報量が格段に増加している。

ホームページの再構築及び組合Facebookページの活用により、アクセス数が増加し、従来に増して組合員の営業活動に支援す

ることができている。今後、さらにFacebook活用が促進されることで、地域の魅力的な情報が組合員から入力されることにより、集客・予約などの営業活動支援に直接結びつく効果が期待される。



#### 千葉県旅館ホテル生活衛生同業組合

住所：〒260-0015  
千葉市中央区富士見1-12-7  
設立：昭和33年3月  
出資金：5,110千円  
電話：043-222-6590  
URL：http://www.yado.or.jp  
業種：ホテル、旅館業  
組合員：319人  
組合専従者：3人